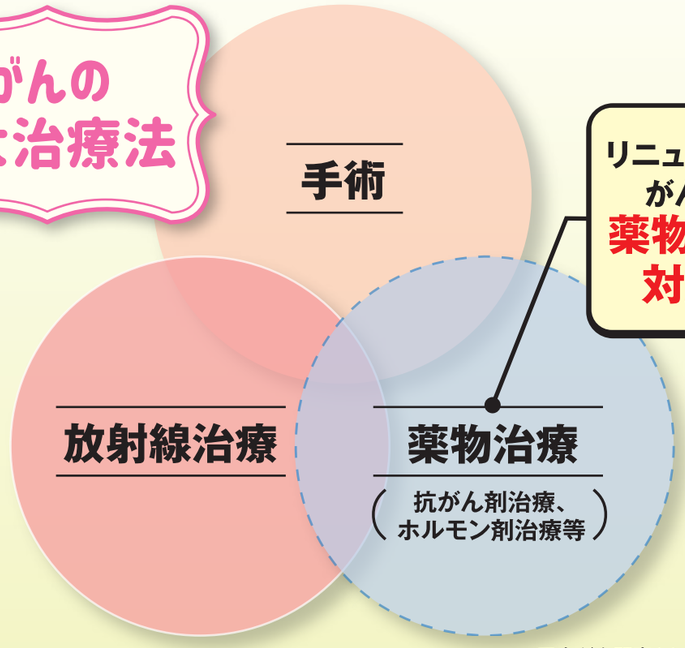
JA共済

JA共済から お知らせです

がんの3大治療法



国立がん研究センターがん情報サービス
「診断と治療」をもとにJA共済連作成

知っていますか？

がんの入院にかかる平均費用

がんの種類	平均入院日数	入院にかかる費用（1日あたり）	入院にかかる費用（窓口支払総額）
胃がん	14.7日	約18,280円	約268,000円
肝臓がん	13.6日	約20,550円	約279,000円
結腸がん	14.9日	約19,170円	約285,000円
直腸がん	15.9日	約20,830円	約331,000円
乳がん	9.4日	約22,120円	約207,000円
子宮がん	9.2日	約22,940円	約211,000円

※上記入院にかかる費用以外に食事代や生活療養費がかかります。
厚生労働省「令和5年患者調査」「令和5年度医療給付実態調査」よりJA共済連試算
※医療費総額には、高額療養費による給付は考慮していません。

がんの先進医療にかかる平均費用

治療方法	病名	技術料（全額自己負担）
重粒子線治療	肺がん、食道がん、子宮頸がん（扁平上皮がん）など	約318.9万円
陽子線治療	肺がん、肝がんなど	約278.0万円

高額な自己負担額がかかってしまいます。

厚生労働省「第149回先進医療会議資料
令和7年6月30日時点における先進医療に係る費用」をもとにJA共済連作成
※先進医療は随時見直されますので、詳しくは厚生労働省のHPでご確認ください。

リニューアル

JAのがん共済が新しくなりました



令和7年3月以前の“がん共済”に加入されているご契約者様へ

現在ご加入いただいている契約内容では「薬物治療（抗がん剤治療・ホルモン剤治療）」をおこなった場合にお役に立てないケースもあります。JA共済では現在のご契約を活かして保障を最新化できます。
最新の保障内容への変更手続きにあたっては、ご契約いただいているJA支店へご相談ください。

※詳細な契約内容につきましては「重要事項説明書（契約概要・注意喚起情報）および「契約のしおり・約款」により必ずご確認ください。
※ご年齢や病歴および現在ご加入の契約内容によっては新しい保障内容への変更手続きができない場合がございますので、ご了承ください。
※転換契約の際は、「重要事項説明書（契約概要・注意喚起情報）」、「ご契約のしおり・約款」および「保障見直し設計書」を必ずご覧ください。

お問合せは

26229990184

令和7年3月以前の“がん共済”に加入されているご契約者様へ

令和7年4月より“がん共済”の保障範囲が拡大しました。
新しい保障内容への変更手続きをぜひご検討ください。

転換制度により最新の保障内容への変更が可能です

保障内容 （概要）	現在の保障内容 （令和7年3月以前のご契約）	最新の保障内容 （令和7年4月以降のご契約）
がん診断 入院 手術 放射線治療	○	○[*1]
入院した場合の 共済金の支払方法	入院日数に応じて支払[*2] <例:4/26~5/5で入院> （10日間入院） 5,000円×10日=5万円	月ごとに一時金で支払[*3] <例:4/26~5/5で入院> （10日間入院） 4月分:15万円 5月分:15万円 合計30万円
薬物治療 （抗がん剤治療、 ホルモン剤治療等） 在宅医療	×	○
共済掛金が 払込免除（不要）と なる場合	災害・特定感染症による 所定の身体障害状態	災害・特定感染症による 所定の身体障害状態 ＋ 「がん」と診断された場合[*4]

※1　上記表における「○」は保障対象、「×」は保障対象外であることを示します。
※2　この共済において対象となる「がん」は、悪性新生物（上皮内新生物を含む）および脳腫瘍です。
※3　がんに関する責任（保障）の開始は、ご契約日からその日を含めて91日目からとなります。これより前に被共済者が悪性新生物または脳腫瘍と診断確定された場合には、共済金はお支払いいたしません。また、がん診断時共済掛金払込免除特則が付加されている場合におけるがん診断による共済掛金の払込免除はありません。
※4　所定の後遺障害等の状態による共済掛金の払込免除についてはご契約日から保障いたします。
*1　診断保障ありの契約の場合
*2　がん共済金日額5,000円の場合
*3　がん治療月額共済金額15万円の場合
*4　がん診断時共済掛金払込免除特則を付加した場合に、ご契約日からその日を含めて91日目から責任（保障）を開始いたします。

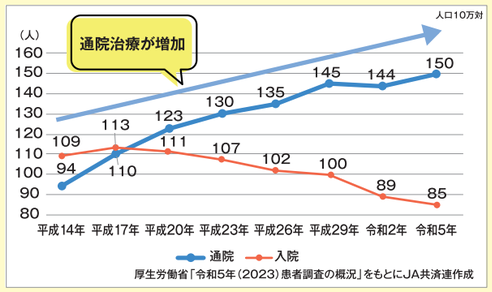
がん治療の変化

医療技術の進歩により、治療期間や治療方法も変化しております。
JA共済では近年のがん治療に対応した保障内容となるように
仕組（保障内容）の改訂をおこないました。

1 月ごとにまとまった一時金の支払いになりました

通院治療が増加傾向にあることから、入退院前後の検査費用や通院費用に対応できる一時金でのお支払いになりました。

がん（悪性新生物）の外来受療率、入院受療率の推移

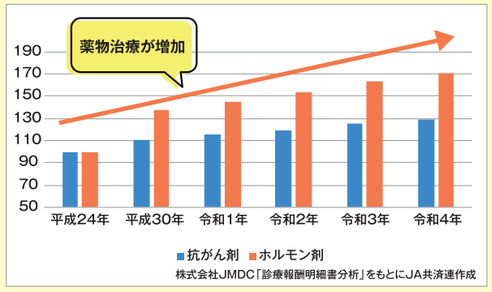


厚生労働省「令和5年（2023）患者調査の概況」をもとにJA共済連作成

2 薬物治療・在宅治療も保障の対象になりました!

薬物治療が増加傾向にあることから、抗がん剤やホルモン剤による治療にも対応する保障となりました。

受療率の推移（H24を100とした場合）

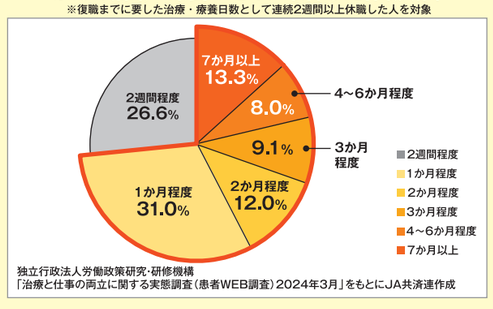


株式会社JMDC「診療報酬明細書分析」をもとにJA共済連作成

3 「がん」と診断された場合、その後の共済掛金はいただきません!

がん治療のために退職・休職する方もいらっしゃいます。
がんと診断されてからの掛金の払い込みは不要となるため、経済的な負担が軽減されます。

がんの治療・療養のために取得した休職期間
※復職までに要した治療・療養日数として連続2週間以上休職した人を対象



独立行政法人労働政策研究・研修機構
「治療と仕事の両立に関する実態調査（患者WEB調査）2024年3月」をもとにJA共済連作成